

記入例		児童手当 認定請求書										提出年月日		※受付確認年月日															
		必ず記入してください。										令和 6・1・1																	
請求者	①氏名 (法人名等)	栗東 太郎										性別	男・女	③生年月日	1982・1・1		④職業	ア. 被用者 イ. 公務員 ウ. 被用者等でない者	⑤配偶者	有・無									
	⑥住所 (法人の主たる事務所の所在地)	〒 520-3088 栗東市安養寺一丁目13番33号										1月1日時点の住所 (1～5月分は前年、 6～12月分は本年)		(左欄と異なる場合に記入してください)															
	⑦個人番号	1 2 3 4 5	②、⑬の職業について ・被用者 →厚生年金に加入している会社員の方等 (被用者かつ3歳未満の児童がいる請求者は、健康保険証のコピーか年金加入証明書の提出が必要です。) ・被用者等でない者 →国民年金に加入している方や配偶者の扶養に入っている方										ア. 厚生年金保険 イ. 国民年金 ウ. その他 (※以下の共済組合の組合員である場合は括弧内に○を記入してください。) () 私立学校教職員共済 () 国家公務員共済 () 地方公務員等共済		⑨勤務先	〇〇株式会社										※認定・却下年月日			
配偶者等	(フリガナ)	栗東 安										⑩生年月日	1983・1・1		⑪職業	ア. 被用者 イ. 公務員 (勤務先:) ウ. 被用者等でない者	⑫個人番号	9 8 7 6 5 4 3 2 1 0 9 8										※支給開始年月	
	⑪住所 (⑥と異なる場合)											1月1日時点の住所 (1～5月分は前年、 6～12月分は本年)		(左欄と異なる場合に記入してください)										令和 年 月 分					
⑮児童の兄姉等 (18歳に達する日以後の最初の3月31日を経過した後22歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある者)	氏名	栗東 花子										続柄	子	生年月日	20△△・1・1		⑮児童の兄姉等について	[注意] ⑮「監護相当の有無」及び「生計費負担の有無」がいずれも「有」の場合は、本請求書と併せて「監護相当・生計費の負担についての確認書」をご提出ください。 (⑮児童の兄姉等と⑯児童の合計人数が3人以上の場合に限る。)										※算定対象の場合に○印	
	続柄	子										生年月日	20□□・1・1		⑮児童の兄姉等について	⑮児童の兄姉等について ・「監護相当」とは、日常生活上の世話・必要な保護をしていることをいいます。 ・「生計費の負担」とは、生活費の一部を負担していることをいいます。別居している場合であっても、その子の学費や家賃、食料品の仕送りを行っている場合は「有」に○をしてください。										※算定対象の場合に○印			
	⑯児童について	⑯児童について ・別居の場合は別途提出書類が必要です。 ・「監護」とは、児童を養育していることをいいます。(通常は「有」) ・「生計同一」とは、児童が請求者自身の子であり、生計を同じくしている場合のことをいい、「生計維持」とは児童が請求者自身の子ではないが、生計を維持している場合のことをいいます。																											
⑰支払希望金融機関	□ 公金受取口座を利用します。	(個人番号と紐づけしている口座を指定する場合、口座情報の記入は不要です。)										⑰請求者名義の口座となります。お子様名義の口座は登録できません。公金受取口座か指定の口座のいずれかを選択し、指定の口座の場合は金融機関等をご記入いただき、口座番号や名義の分かるもの(通帳やキャッシュカードのコピー)を添付してください。公金受取口座を利用される場合は不要です。										円							
	名称	支店コード	支店名	口座番号		口座名義(カタカナ)		その他の状況		(請求者)		円		円															
栗東		999	栗東支店	1	2	3	4	5	6	7	栗東太郎																		

◎ 裏面の注意をよく読んでから記入してください。 ※印の欄は、記入しないでください。字は、楷書(かいしよ)ではっきり書いてください。